

「富山地方鉄道立山線魅力発信情報誌作成業務」

公募型プロポーザル実施要領

1 趣旨

観光路線と位置付けて存続を目指す地鉄立山線の持続可能性を高めるために、今後の利用者増を目指すため立山線及びその沿線の魅力を発信する情報誌の作成を実施するもの

2 委託業務名

富山地方鉄道立山線魅力発信情報誌作成業務

3 委託業務の概要

別紙「富山地方鉄道立山線魅力発信情報誌作成業務」のとおり（以下「別紙仕様書」）

4 委託契約期間

契約締結の日から令和9年3月31日まで

5 委託料の上限額

金 4,000 千円（消費税及び地方消費税を含む。）

※ 上記上限額とは別に、契約手続きにおいて予定価格を設定します。

6 プロポーザル参加資格要件

次に掲げるすべての項目を満たしている者とする。

- (1) 提案内容を確実に遂行できる体制を有し、優れた企画能力を有すること。
- (2) プロポーザルへの参加に必要な諸手続きに遺漏がないこと。
- (3) 宗教団体や政治活動を主たる活動の目的としていないこと。
- (4) 次のいずれにも該当しないこと。

ア 取締役等（個人の場合はその者を、法人である場合にはその役員またはその支店若しくは常時契約を締結する事業所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であると認められる者

イ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）または暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる者

ウ 取締役等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用した等と認められる者

エ 取締役等が暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与したと認められる者

オ 取締役等が暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者

- カ 取締役等が、相手方が暴力団員であることを知りながら、これを不当に利用していると認められる者
- キ 参加者（参加者が法人その他の団体である場合は、参加者及びその役員、株式会社にあつては取締役、公益法人にあつては理事、その他の法人等にあつてはこれらに相当する職にある者をいう。）が、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 第 2 項各号のいずれかに該当すると認められる者で、その事実があつた後 2 年を経過しないもの及びその者を代理人、支配人その他の使用人として使用する者
- ク 参加者が破産者で復権を得ないものまたは会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更生手続き中若しくは民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく再生手続き中の者
- ケ 参加者が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号から第 4 号までまたは第 6 号の規定に該当する者
- コ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和 23 年法律第 122 号）第 2 条第 1 項に規定する風俗営業、同条第 4 項に規定する接待飲食業、同条第 5 項に規定する性風俗関連特殊営業またはこれらに類する業を営む者
- サ 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律（平成 11 年法律第 147 号）第 5 条第 1 項に規定する観察処分を受けている者
- シ 県税を滞納している者
- ス 民法（明治 29 年法律第 89 号）第 20 条第 1 項に規定する制限行為能力者（成年被後見人、被保佐人、被補助人または未成年者）
- セ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、または執行を受けることがなくなった日から起算して 5 年を経過しない者

7 プロポーザルに関する質問

プロポーザルに関して質問がある場合、令和 8 年 5 月 26 日（火）17 時（必着）までに、「質問票」（様式 1）を電子メールにより提出すること（必ず電話で到達確認すること）。

提出先 富山県観光推進局観光振興室立山線担当

E-mail : akankoshinko@pref.toyama.lg.jp

その他

- ・評価基準の配点に関する質問、他の応募者に関する質問、その他本プロポーザルに関係のない質問は受け付けないものとする。
- ・質問に対する回答は、原則として令和 8 年 5 月 28 日（木）までに富山県のホームページ（「公募型プロポーザル」ページ）に掲載する。

8 プロポーザルの参加申込み

プロポーザルへの参加を希望する場合は、令和 8 年 5 月 29 日（金）17 時（必着）までに「参加申込書」（様式 2）を電子メールで提出すること（必ず電話で到達確認すること）。

提出先 富山県観光推進局観光振興室立山線担当

E-mail : akankoshinko@pref.toyama.lg.jp

9 企画提案書の提出

本プロポーザルの参加を申し込んだ者は、次のとおり企画提案書等を電子メールにより提出すること（必ず電話で到達確認すること）。

(1) 提出期限

令和8年6月5日（金）17時（必着）

(2) 提出先

富山県観光推進局観光振興室立山線担当

E-mail : akankoshinko@pref.toyama.lg.jp

(3) 提出書類

①企画提案書（様式任意）

別紙仕様書に定める内容を参照の上、提案すること。

提案書には、業務の進め方（業務の具体的な実施方法、業務スケジュール）を盛り込み、具体的かつ簡潔に記載すること。

②実施体制（様式任意）

ア 会社の業務概要

イ 委託業務を実施するための社内外の実施体制及び配置担当者等

ウ 過去の類似業務の実績（国や地方自治体のものを中心に）

③概算見積書（様式任意）

ア 本委託業務を履行するための一切の経費を算出し、見積書を提出すること。

イ 上記5の予算の範囲で作成すること

10 審査

(1) 審査方法

企画提案書等の内容を書面により審査し、事業の実施に適切な者を委託候補先として採用する。なお、必要に応じてヒアリングを実施する場合がある。

※ 概算見積書の金額が安価な提案を行った者を、第一義的に採用するものではないことに留意すること。

(2) 審査基準

別紙「提案書評価基準」のとおり

(3) 結果通知

参加者に対して審査結果を書面にて通知し、契約候補者の名称等を富山県のホームページ（「公募型プロポーザル」ページ）に掲載する。

なお、審査結果に対する異議申し立てはできないものとする。

(5) 失格要件

次に掲げるものの提案は無効とします。

①企画提案書等に虚偽の内容が記載されている場合

②他の参加者と企画提案の内容について相談を行ったことが判明した場合

③審査員に対して、直接、間接を問わず、故意に接触を求めるなど、評価の公平性に影響を与える行為があった場合

④その他、本実施要領に違反する行為があった場合

11 その他

(1) 企画提案書作成等のプロポーザルへの参加に要する全ての費用は、参加者負担とする。

なお、提出された企画提案書等は返却しない。

(2) 契約候補者とは、仕様書の内容を別途協議のうえ、契約を締結する。ただし、必要な契約条件に合致しない場合、契約締結を行わない場合があり、この場合、次点の者と契約締結について協議するものとする。

(3) 委託料には、雇用者等の旅費や必要となる郵送費等の一切の付帯費用を含むものとする

る。

- (4) 委託業務を行うにあたり、業務上知りえた秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用することはできないものとする。また、委託業務終了後も同様とする。
- (5) 事業の趣旨に沿った効果的な提案であれば、仕様書に記載の無い事項についても、新たな提案を妨げるものではない。
- (6) 業務により作成した成果物及び当該成果物に係る著作権は、県に属するものとする。

12 実施スケジュール

- | | |
|----------------------|------------------|
| (1) プロポーザル質問書提出締切 | 令和8年5月26日(火) 17時 |
| (2) プロポーザル参加申込締切 | 5月29日(金) 17時 |
| (3) プロポーザル企画提案書等提出締切 | 6月5日(金) 17時 |
| (4) 書面審査 | 6月上旬～中旬(予定) |
| (5) 審査結果の通知・契約候補者の決定 | 6月中旬～下旬(予定) |

13 提出・問い合わせ先

富山県観光推進局 観光振興室 立山線担当 太田
〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号
TEL : 076-444-9662
E-mail : akankoshinko@pref.toyama.lg.jp